

志布志市 市制施行10周年

平成18年1月に旧松山町、旧志布志町、旧有明町が合併し志布志市が誕生してから10年を迎えました。それを記念して4月24日(しぶしの日)に市文化会館において市制施行10周年記念式典を開催し、約800人の参加がありました。



ハーモニー・サン・スマイルによるイメージソング「フロムしぶし」の斉唱



特別功労者表彰



市政功労者表彰



オープニングを飾った歌舞劇「志の地の物語」

志あふれる10年をさらに未来へ

式典の冒頭では、熊本地震で犠牲になられた多くの方に対し、会場全体で黙とうが捧げられました。また、会場入口では市社会福祉協議会と志布志中学生が被災地への義援金の協力を呼びかけました。



式典は、綾小路きみまろさんのお祝いメッセージビデオで幕を開けました。また、幕間の志布志市紹介VTRには志布志市民が多数出演し、千代丸関、千代鳳関からもお祝いのメッセージビデオが届くなど志布志の人の魅力がまった賑やかな式典になりました。

市政功労者・特別功労者表彰

この10年間、市政の発展に貢献された12人、4団体を表彰しました。

(敬称略・順不同)

- ◆ 市政功労者表彰
 - 地方自治部門
 - 清藤修 林勇作 野中順一
 - 重留慧 松木健二 池田勝哉
 - 坪田勝秀 中之内操
 - 特別表彰
 - 綾小路きみまろ
- 【個人】
 - 吉田隆司 窪健一

【団体】

- 志布志町SL保存会
- かあちゃんべふんこ会
- JAお鹿児島ビーマン専門部会
- NPO法人志布志市ふるさと協議会
- ◆ 特別功労者表彰
 - 川井田幸一

イメージソング斉唱

志布志市のイメージソング『フロムしぶし』の斉唱では、市内の小・中高校生で構成された合唱団「ハーモニー・サン・スマイル」と、会場が一つになっての斉唱となりました。

記念ライブステージ

後は、坪田俊一さんのライブステージが行われ、日本一の歌声が披露されました。



志布志市は、この10年間、様々な喜びや困難を市民の皆様と共にしてきました。これからも先人たちが築いた歴史や文化をしっかりと引き継ぎ、「高い志」と「慈愛の精神」による「志あふれるまちづくり」を推進するため、市民一人ひとりがそれぞれの役割を持って、志を掲げ、行動を起こし、輝く「志布志市」を築いていきます。

私の志

立志を迎えた市内の中学3年生が「私の志～将来こういうことがしたい～」というテーマで「100文字で書く志」を書きました。その中から、優秀賞に選ばれた3人を表彰し、それぞれ発表していただきました。



宇都中学校3年 原田 直也

僕の夢は人の痛みが分かる人間になることです。そのために、今つらい思いや苦しい思いを経験したいです。転ばない方法を知るのではなく、転んだ後の立ち直り方を知り、人の痛みが分かる人間になることが僕の志です。



志布志中学校3年 新西 真由

ぼくは、心も体もきれいにされるトイレの清掃員になりたいです。そして、志布志のトイレを使った人すべてが幸せになれるようなトイレを目指したいです。そして、志布志を日本一トイレがきれいな市にしたいです。



志布志中学校3年 酒匂 俊哉

僕は将来、コンビニエンスストアの店長になりたいです。そして店長になって市民の方の第2の家になるようにがんばりたいです。そして志布志にしかない商品を作って志布志を元気にして活性化させたいです。

